



モリマーグループ
MOLYMER GROUP

モリマーマテックス株式会社 COMPANY PROFILE

私たちはサステナブルな社会を目指し、
FRPでイノベーションを起こします。



モリマーマテックスは、「FRPのプロ集団」として、あらゆる分野のお客様のニーズに最適なソリューションを提供するため、常に最先端の技術を追い求め進化し続けます。

1938年の創業以来、FRPの軽くて強く錆びない特性と長寿命でライフサイクルコストの優位性を最大限に生かし、社会インフラを始め、意匠性建築、耐食プラント、通信分野でお客様に最適なソリューションを提供し社会に貢献してまいりました。

そして2021年4月にモリマーグループに加わりました。

住生活、産業資材、自動車、エレクトロニクス、医療、ヘルスケア等の幅広い分野で様々な素材や部品を手がけるモリマーグループの一員として、ご期待以上の製品やサービスのご提供に努め、長い年月を経て築いてきたお客様とご縁や伝統と技術力を大切に守りつつ、全社一丸となって新たな歴史を作り上げてまいります。今後とも倍旧のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 安田 寿之

モリマーグループ経営理念

1. 世のうつりかわりに柔軟に対応していける変化に挑む経営。
2. 品質のすぐれていること、納期の厳守、機動性を持ち、且つ原価低減にあくなき挑戦をする経営。
3. 付加価値の高い製品をプレゼンテーションできる経営。
4. 会社の発展を通じて、従業員の幸せや地域の発展に貢献できる経営。

モリマーグループの
4C

- C an (可能性)
- C hange (変化)
- C hallenge (挑戦)
- C ommunication (意思疎通)

波形ガラスの製造を目的として大日本硝子工業株式会社を設立
大阪工場において生産を開始
翌年横浜工場（鶴見）を設立

1938年

ガラス繊維強化プラスチック（FRP）波板の生産を横浜工場において開始

1955年



東海特殊硝子（株）の強化プラスチック成形部門を吸収して名古屋工場とした

1957年

1959年

横浜、名古屋両工場を、神奈川県相模原市に工場を統合移転し、FRPの総合メーカーとして、設備の充実、拡充を実施

1960年 FRP波板「アーモライト」の生産・販売開始



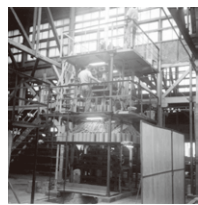
1964年



東京オリンピックにおけるフィン級ヨットの製造を担当

1968年

大型（860ton,1500ton）FRPプレス成形品の生産・販売を開始



自社技術によるFRP連続引抜材「ブラアロイ®」の生産・販売を開始

1970年

大型フィラメントワインディング成形装置を設置し、FRP耐食機器の生産を開始



連続プレス成形装置を開発設置し、電力用FRPトラフの生産を開始

1974年



連続引抜設備の更新を行い「ブラアロイ®」の多様化を行い、さらに大型製品への展開を図る

1977年

米国ロストン社の技術によるBMC精密成形品「ローサイト®」の生産を開始

1987年

鉄筋代替FRP格子材などの販売のためにネフコム（株）を設立

1989年

鉄筋代替格子材「FRPコンクリート補強筋」の連続生産設備を設置

1993年

「ネステム」が土木材料として建設省民間技術評定審査に合格

2001年

全事業所でISO14001の認証を取得（JCQA-E-0311）

AGC MATEX (THAILAND) CO., LTD. を設立し、成長著しい東南アジアへの販売拠点・製造拠点とする

引抜事業拡大 / 生産能力向上のため、茨城県北茨城市に工場を新設・移転。

2023年

新規商品開発を促進するためモリマーテクニカルセンター（MTC）を新設、同社屋内に本社及び技術部門を集約。

2021年

モリマーグループに加わり、モリマーマテックス / MOLYMER MATEX (THAILAND) へ社名を変更

1999年

全事業所でISO9001の認証を取得（JCQA-0571）



本社 / 技術本部
モリマーテクニカルセンター（MTC）内



東京営業部



大阪営業部



MOLYMER MATEX (THAILAND)



茨城工場

モリマーマテックス茨城工場（茨城県）

モリマーマテックス東京営業部（東京都）

モリマーマテックス本社 / 技術本部（神奈川県）

モリマーマテックス大阪営業部（大阪府）

MOLYMER MATEX (THAILAND)（タイ王国）

- 社 名 モリマーマテックス株式会社
- 代表取締役 安田 寿之
- 創 立 1938年4月15日
- 資 本 金 3億円
- 株 主 日本モリマー株式会社
- 事 業 内 容
繊維強化プラスチック（FRP）の開発・設計・製造・施工・販売
樹脂製品の開発・設計・製造・施工・販売
建築用採光製品の開発・設計・製造・施工・販売
- 取 引 銀 行
三菱UFJ銀行（相模原支店、神保町支店、大阪西支店）
横浜銀行（橋本支店）
- 本社概要
住 所 〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台1丁目2番6号
電 話 (042) 772-1171 FAX (042) 773-0167
- 建設業許可
国土交通大臣 許可（般-28）第26183号（仮）

お客様の信頼とあらゆる要求にお応えするためにチャレンジし続けます!

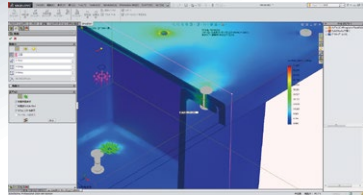


複合材料を熟知した設計技術 FRPに関する豊富な経験・データの蓄積

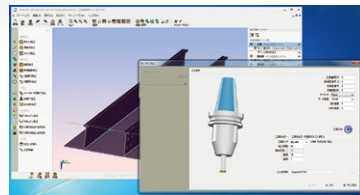
1. 構造設計を併せた設計力により弊社技術陣が、お客様の悩み、課題解決に貢献させていただきます。
2. 徹底した品質管理と長年蓄積してきたFRP技術、ノウハウを活かし、自社並びに弊社タイ現地法人MOLYMER MATEX (THAILAND)において最適生産を追及しております。

<主要社内設計ツール>

- ・2D CAD・・・12台
- ・3D CAD/CAM・・・2台
- ・3D CAD/CAE・・・2台
- 等



3D CAD/CAE



3D CAD/CAM



社内の豊富な試験・計測設備と評価技術



サンシャイン
ウェザーメーター
(促進暴露試験)



引張り試験



曲げ試験

<主要社内試験設備>

- ・曲げ圧縮試験機 (油圧式)
- ・曲げ圧縮万能試験機
- ・引張試験機
- ・衝撃試験機
- ・サンシャイン ウェザーメーター
- ・45° 燃焼試験機
- ・三次元測定機
- ・デジタルマイクロスコープ
- ・熱重量・示差熱分析装置 (TG/DTA)
- 等

物理的検査は、強さ/たわみ/耐久性/難燃性などを確認するなど、外から加えられるさまざまな力に対する強さやたわみの度合い、材料が備えている物理的性能について、客先仕様の定める基準および信頼検査の内容に対応する基準に沿って厳正に試験を行い、その結果を数値化します。

ISO規格に基づくマネジメントシステム

モリマーマテックス株式会社 (本社/技術本部、茨城工場、東京営業部、大阪営業部)

ISO9001 (認証番号 JCQA-0571)

範囲：繊維強化プラスチック (FRP) 及び熱可塑性プラスチック成形品の開発・設計、製造・加工、委託製造・加工管理並び販売

MOLYMER MATEX (THAILAND) CO.,LTD.

ISO9001 (認証番号 TH014738)

範囲：Design, Development and manufacturing of fiber reinforced plastic

当社は、お客様の視点に立った製品を一貫して提供するために、社長以下全員がISO9001に基づく品質マネジメントシステムの確立、運用、その有効性及び効率の継続的改善に積極的に取り組むとともに、責任・権限を明確にして業務を行っています。

モリマーマテックス株式会社

(本社/技術本部、茨城工場、東京営業部、大阪営業部)

ISO14001 (認証番号 JCQA-E-0997)

範囲：繊維強化プラスチック (FRP) 及び熱可塑性プラスチックの開発・設計、製造、販売

現在、世界では環境問題への取り組みが求められています。当社は社長以下全員がISO14001に基づく環境マネジメントシステムの確立、運用、その有効性及び効率の継続的改善に積極的に取り組み、社会的責任を果たすと同時に、社会とともに持続的に発展する企業を目指すために環境への取り組みを行っています。

モリマーグループのネットワークを活かし、
原材料の手配から、各種機械成形等の
幅広いFRP成形法を準備しております。

Molymer Value

夢をかたちにする「プラスチックのオールラウンダー」

お客様に満足していただくために
4つの価値「知見」「技術力」「ネットワーク」「提案力」を磨き続けています。

モリマーマテックス/MOLYMER MATEX (THAILAND) では、材料設計、原材料調達からFRP成形・加工まで行い、幅広い製法を用いて各種FRP製品をお客様へ製品を提供しています。特に成形については、FRPの基本であるハンドレイアップから、各種機械成形による生産に対応しています。更に、モリマーグループのネットワークを活かし、お客様へソリューションを提案し続けます。

<モリマーマテックス/MOLYMER MATEX (THAILAND) が使用するプラスチック成形法>

ハンドレイアップ成形 (日本/タイ)、引抜成形 (日本/タイ)、連続プレス成形 (日本)、BMC成形/SMC成形 (日本)、ガラス一体成形 (日本)、フィラメントワイディング成形 (タイ)、シートワイディング成形 (タイ)

<モリマーグループが使用するプラスチック成形法>

BMC成形/SMC成形 (日本国内最大規模プレス所用)、熱可塑性樹脂射出成形、熱硬化性樹脂射出成形、回転成形、注型成形、シート押出成形



FRPとは

FRP (Fiber Reinforced Plastics) とは、繊維でプラスチックを強化したものです。軽くて強いなど多くの長所があるために、幅広く使用されています。テニスのラケット、スキーなどのスポーツ用品、バスタブ、ベンチなど身の回りのものから、レーシングカー、飛行機、モーターボートに至るまで幅広い用途に利用されています。

異種材料の組み合わせによって、単独ではなしえない優れた性能が得られる複合材料の世界。FRPは樹脂複合材料の代表的な材料といえます。

FRPの優れた特徴

■ 軽量・高強度

FRPは金属に比べると非常に軽く（鋼比重7.8、FRP比重1.6～2.1）また、使用する繊維基材は鋼よりも強度が高いため構造体にも使用されます。



■ 抜群の耐食性

FRPは金属のように錆びたり、木材のように腐食したりすることがありません。そのため、化学プラントの薬品タンクや船舶などの環境でも使用されます。



■ 高耐久・長寿命

FRPは紫外線、雨水等、屋外での耐久性に優れており、またFRP表面に高耐久のフッ素塗装を施すことにより、更なる耐久性向上に寄与し、ロングライフを維持します。



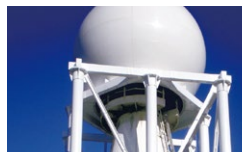
■ 高い形状自由度

FRPには多様な作り方がありますので、どんな形でも作ることができます。公園の施設や遊具など様々な造形物に使用されます。



■ 電波透過性

FRPは電波を透過しますので、通信関連の施設に使用されます。



■ 優れた電気特性

FRPは電気を通しにくいので電気絶縁を要求される電気部品に使用されます。また、誘導電流の発生がないので、大容量の電力ケーブルの保護管にも使用されます。



■ 光線透過も可能

FRPは柔らかく光を透過させることもできます。製造法と原材料を工夫することで構造的な強さと光の透過を両立させることもできる材料です。



建築・土木

分野別用途例

FRPが様々な建築物のイメージをひろげます。FRPの長寿命が土木の世界でメンテナンス軽減を可能にします。



視界と開放性を備えたデザインのグレーチングルーバー



意匠性の高い引抜成形材ルーバー



越波対策用ポリカーボネート製透光防波柵



海洋環境での全FRP歩道橋引抜成形、ハンドレイアップなどFRP成形法の組み合わせによって構築



空港の飛行機侵入部で電波障害を避けるためのフェンス



橋梁長寿命化の点検に欠かせない軽量で腐食しない検査路

環境・化学

分野別用途例

極めて耐食性に優れたFRPは、環境や化学の分野で長い実績を重ねています。FRP耐食機器の実績です。



塔上送水配管 (FRPパイプ)



純水槽 (FRPタンク)



腐食対策に優れたFRP螺旋階段



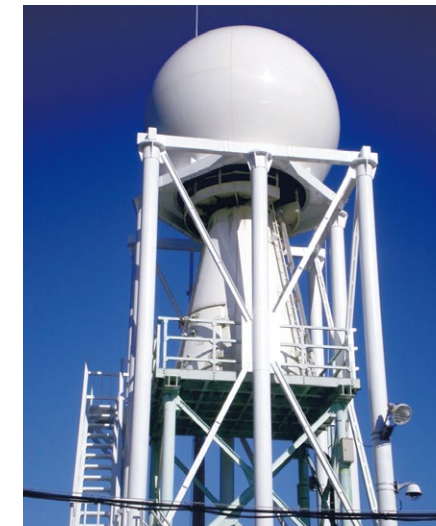
長スパン開口に対応可能な引抜成形覆蓋

プラアロイ®

引抜成形によって製造されるFRP成形材は、加工・組立によって様々な用途に使用されています。



「情報BOX管路 (光ファイバー用)」引抜成形品プラアロイ®



「航空機用アンテナ架台」引抜成形品プラアロイ®電波透過性



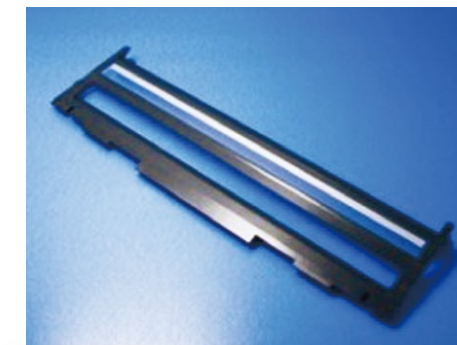
「FRP製空港施設」引抜成形品プラアロイ®

電気・電子

分野別用途例

電気絶縁性、電波透過性、屋外での耐久性、軽量など、FRPの多くの特徴が生きています。

ローサイト®



ガラス、金属部品などとの一体成形が可能です。熱間寸法安定性が良好なため、熱可塑性樹脂にない機能を持っています。PPS、BMCともに樹脂配合技術を含めてご提案できます。

アフコム®



ポリフェニレンサルファイド樹脂成形材料 (PPS)

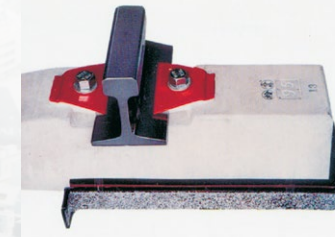
鉄道・車両・道路

分野別用途例

電気特性、強度、耐久性などFRPの特徴が生きています。



「眩光防止板」SMC成形品寒冷地所向け眩光防止板高強度、耐久性が高い



「防振埋込箱」SMC成形品強度、寸法安定性



「鉄道車両内装材 (エアコン吹出口)」BMC成形品不燃性 (車材燃試の不燃性取得)、耐溶融滴下性

様々な造形物に

分野別用途例

形が自由自在であることがFRPの大きな利点です。しかも、屋外での長期使用に耐えます。



「瓦屋根」ハンドレイアップ成形品沖縄瓦の意匠性を取入れたFRP瓦屋根海洋環境下で使用

「風力モニュメント」ハンドレイアップ成形品中型風力発電用ブレード



モリマーグループ
MOLYMER GROUP

MOLYMER MATEX CO., LTD.

*商品の品質改良に伴い、仕様の一部を予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

モリマーマテックス株式会社

本社/技術本部 〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台1丁目26番6号
TEL (042) 772-1171 (代) FAX (042) 773-0167
茨城工場 〒319-1556 茨城県北茨城市中郷町日棚字宝壺2139番 (南中郷工業団地内)
TEL (0293) 35-9050 (代) FAX (0293) 35-9060
東京営業部 〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目2番9号 三晶ビル3F
TEL (03) 3516-0277 (代) FAX (03) 3516-0288
大阪営業部 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2丁目3番8号 三甲大阪本町ビル7F
TEL (06) 6267-0688 (代) FAX (06) 6267-0689

MOLYMER MATEX (THAILAND) CO., LTD.

本社・工場 480 Moo 4, Sukhumvit Road, Phraeksa Subdistrict, Mueang District, Samut Prakan, 10280.
TEL +66(0)2-323-0774-6 FAX +66-(0)2-323-0777

ISO9001

認証番号 JQQA-0571
認証機関
日本化学キューエイ株式会社

ISO14001

認証番号 JQQA-E-0997
認証機関
日本化学キューエイ株式会社

モリマーマテックス株式会社:

本社/技術本部、茨城工場、東京営業部、
大阪営業部

範囲:

繊維強化プラスチック (FRP) 及び
熱可塑性プラスチックの開発・設計、
製造、販売

ISO9001

認証番号 TH014738
認証機関 BUREAU VERITAS Certification

MOLYMER MATEX (THAILAND)
CO., LTD.

範囲:
Design, Development and manufac-
turing of fiber reinforced plastic

Home Page <http://www.molymermatex.co.jp>

1-POD-23.9 MM